

## 令和7年度の学校評価

|          |  |  |   |
|----------|--|--|---|
| 本年度の重点目標 | <p>安全で安心な学校づくりを確立するために、家庭や地域、企業との連携を図りながら教職員が一体となって推進する。また、生徒や保護者の夢を形づくるなど、3年間の学びを通して、社会から期待される生徒の育成や地域から愛される学校を目指す。</p> <p>(1) 職員は、生徒との好ましい人間関係をつくり、教育活動に取り組む。</p> <p>(2) 基礎・基本を大切にして、スモールステップを踏むなど分かりやすい授業を実践すると共に、生徒の学習意欲を引き出すための授業改善に取り組む。</p> <p>(3) 職員は、自ら指導技術を磨き教育への見識を高めるとともに、品性を磨き、豊かな教養と広い社会的視野をもち、資質能力の向上と授業規律の確立に努める。</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の確立を図り、全校生徒が自ら進んであいさつができるように、生徒を主体としたあいさつ運動の支援を行う。</p> <p>(5) 教育活動全般を通して、生徒が思いやりをもち、互いの個性を尊重しつつ周りの生徒と協力して行動できるように、生活指導を推進する。</p> <p>(6) 生徒を地域のイベントに積極的に参加させるなど、より多くの学びの機会を設け、活動を通して達成感や自己有用感などを体得させ、自ら進んで学ぶ姿勢を養う。</p> <p>(7) 工科高校として、時代と地域社会に即した教育の在り方について研究する。</p> <p>(8) 普段の教育活動や行事など生徒の活動の様子について、ホームページなどを積極的に活用し家庭や地域社会に向けた情報発信に努める。</p> <p>(9) 安全衛生委員会などの既存組織を活用し、ワーク・ライフ・バランスに十分配慮し、職場環境を整えていく。さらに業務改善に向けた取組として「業務の見える化」を進め、業務を分担できる協働体制をつくる。</p> |  |   |
| 項目       | 重点目標   | 具体的方策  | 留意事項  |
| 総務部      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA諸活動を通し、保護者に学校生活を開かれたものにする。</li> <li>・災害時の初動に支障をきたさない対策をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事のみならず、各種会議やPTA活動へ参加していただき、学校で過ごす時間を多くする。</li> <li>・避難経路図やマニュアルの整備を行い、より洗練されたものにする。また、それを周知して訓練等の際にも用いる。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信等を利用し、早めかつ返答しやすいような案内をする。</li> <li>・実地調査をするなどして、相違がないよう十分留意する。</li> </ul>  |
| 教務部      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣を定着させ、基礎学力の向上を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろの授業に臨む上で、予習や復習の大切さを啓発し、基礎学力の向上につなげる。</li> <li>・家庭における学習習慣を確立、定着をさせる。</li> <li>・外部機関との連携を図り、全職員の協力のもと一人一人の学習に寄り添ったサポートを行い、学習に対する意欲の向上を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろの授業を大切にさせるとともに、課題を出し、家庭の協力を得ながら、学習内容の深い理解のため、予習復習といった学習習慣を確立、定着させる。</li> <li>・外部機関からのデータを他分掌と連携を図り、活用する。</li> </ul>      |
| 図書部      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習センターとしての機能を持った図書館の充実を図る。</li> <li>・教員の教科指導力向上のための研修を設定する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な図書館のディスプレイや生徒が読みたいと思う新刊図書を整備する。</li> <li>・調べ学習などの授業がしやすいように、整備する。</li> <li>・授業公開期間を設定し、また保護者授業見学会を開催することで、教員の授業力の向上を図る。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた図書購入費の中で、魅力ある新刊図書の購入を行う。</li> <li>・本棚や机の配置を工夫し、パソコンの蔵書検索機能も使いやすくする。</li> <li>・初任者や中堅研該当者は積極的に授業公開期間に研究授業を行う。</li> </ul> |

|              |  |  |  |
|--------------|--|--|--|
| <p>生徒指導部</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のルールやマナーの遵守、規範意識の確立</li> <li>・5分前登校の徹底と交通事故件数の減少</li> <li>・いじめの早期発見と適切な事案対処</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校活動を通して、マナーやモラルを向上させ、社会の一員として自覚を持ち、ルールを遵守させる。</li> <li>・スマートフォンや SNS 利用のルールやモラルを徹底させる。</li> <li>・生活習慣を整えさせ、日頃から余裕をもった時間感覚を身に付けさせる。</li> <li>・長期連休明けに交通事故が増えている現状を踏まえ、重点的に早朝立ち番指導や交通安全指導を行う。</li> <li>・いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の規範意識向上に全職員で一丸となって取り組むとともに、地域、家庭との連携を深めていく。</li> <li>・5分前登校の指導や交通安全指導、生活習慣を整えさせる指導を全職員で協力して行う。</li> <li>・「いじめは絶対に許さない」という姿勢で全職員及び各分掌間で協力をして、いじめ問題に対応する。</li> <li>・教職員間や学校と家庭との情報共有を密にし、生徒が安心して学校生活を送れるような環境づくりに努める。</li> <li>・有識者講話などで生徒の意識改善を図る。</li> </ul> |
| <p>特活部</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や学校(生徒会)行事への積極的な参加を促す。</li> <li>・福祉、ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の部活動の定着及び活性化を図る。</li> <li>・学校行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。</li> <li>・福祉、ボランティア活動を通して、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。</li> <li>・あいさつのできる社会人の育成を目指す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの生徒にあった部活動の選択をすることができる環境を整える。</li> <li>・生徒会役員を中心に生徒の意見を取り入れ、生徒主体の学校行事となるように努める。</li> <li>・校内校外を問わず、幅広くボランティアへ参加できるように情報発信する。</li> <li>・より多くの生徒にあいさつ運動への参加を積極的に促す。</li> </ul>   |
| <p>進路指導部</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育を推進し正しい職業観・勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。</li> <li>・選科の実施に当たり、生徒の将来設計を考えた選択ができるように努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と学科を中心に、すべての職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、連携をした進路指導を目指す。</li> <li>・選科を実施するにあたって、学年会、学科主任、家庭科主任、工務主任と協力して分かりやすい資料作成や情報提供を実施し、生徒の将来設計に対して、ミスマッチがないようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所見学や企業説明会を通して、職員が進路指導に生かせる情報を得られる機会を設定する。</li> <li>・職員の多忙化改善のために ICT 機器の活用を進めていく。</li> <li>・選科について、情報発信と面談時間を確保し、学科の特色とともにキャリア教育の一環として進める。</li> </ul>  |
| <p>保健厚生部</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で清潔な環境整備に努め、学校全体で取り組む体制を整える。</li> <li>・基本的な生活習慣を確立させ、心身の健康を保ち自主的な健康管理が行えるようにする。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動への意識を高め、教員と生徒がともに環境を整える。</li> <li>・保健指導を通して健康に対する意識の向上を図る。</li> <li>・ヒヤリハット、安全点検、救急法研修を生徒、教員が真摯に取り組む。</li> <li>・教員、保護者、関係機関が連携して生徒を支える体制を築く。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の清掃活動をより一層充実させる。</li> <li>・生徒の健康や配慮事項、中学校情報をまとめ、教員が共有できるようにする。</li> <li>・必要に応じて個別の健康相談を実施する。</li> <li>・現職研修として救急法と緊急時シミュレーション訓練を実施する。</li> </ul>   |
| <p>工務部</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得、競技大会など、生徒の学ぶ力と意欲向上を図り、その成果を中学生や地域に情報公開をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科、教科、学年会と連携し、資格取得の合格率向上を図る。</li> <li>・資格取得の掲示物を作成し、生徒の資格に対する意識を高める。</li> <li>・情報化推進委員によるホームページ更新を進める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科と連携して、ジュニアマイスター顕彰受賞を目指す生徒の増加を図る。</li> <li>・ICT支援員を活用し、ホームページなど情報発信の方法について検討する。</li> </ul>  |

|         |  |   |   |
|---------|--|---|---|
| 機械科     | <ul style="list-style-type: none"> <li>時代と地域社会に即した学習の在り方と持続的な教育技能について研究する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各実習ショップにおける指導者マニュアルを改善し、作業と評価の標準化および作業安全の共有化を進める。</li> <li>企業見学や、地域イベントへ積極的に参加し、企業からの要望や地域を集約し、授業や実習テーマについてキャリア教育の最適化を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者マニュアルの改善意識を持つことにより、新たな視点による危険リスクの発見に努める。</li> <li>自校生徒に、機械科についての説明をさせることで、地域や近隣の中学生への理解を深める。</li> </ul>   |
| 電子工学科   | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全を意識した作業の定着を図る。</li> <li>進路実現のために、様々な学習や体験を通じて勤労観や職業観を養うことで、専門分野への学習意欲を向上させる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>見直しを加えた実習系のテキストを活用して安全指導を徹底し、実習に伴う危険予知トレーニングを行う。</li> <li>企業見学や外部講師を活用し、勤労観や職業観を養う。</li> <li>進路実現に向けて専門分野への学習意欲を向上させ、学力の向上を図るとともに、資格取得に向けた提案やサポートを行う。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に取り掛かる前に安全指導を十分に実施し、各作業において安全作業に努める。また、生徒からのヒヤリハットの情報を教員間で共有し、改善に努める。</li> <li>各学年に合わせた資格・検定の提案・受験啓発を実施し、高校3年間で計画的に資格取得を行えるように情報を提供する。</li> </ul>  |
| 建築デザイン科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全作業の習慣化を促進する。</li> <li>多様な学習や経験を通じて、勤労観や職業観の発展を支援する。</li> <li>大学と連携した活動を行い、学習意欲を向上させるとともに、進路の選択肢を増やす。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習前にリスクアセスメントを実施し、安全マニュアルを活用する。</li> <li>企業と共同で技能体験会や現場見学会を企画し、生徒の勤労観や職業観の形成を促進するキャリア教育を提供する。</li> <li>大学や専門学校の講師を招いて講義を行う出張授業や、ICT 機器を用いたオンライン授業を実施する。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習開始前に、生徒に対して安全に関する詳細な注意事項をしっかりと説明する。</li> <li>多くの企業と連携して、建設業に対する理解を深めるとともに、興味や関心を高める。</li> <li>出張授業やオンライン授業を通じて学習意欲を高める。</li> </ul>   |
| 環境科学科   | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格、検定取得の充実</li> <li>授業における、安全教育、安全作業の定着</li> <li>進路の選択実現のため、自ら努力する姿勢作り</li> <li>カリキュラム変更へ対応した教科指導</li> <li>校外への情報発信の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格、検定の指導体制・補習の充実。</li> <li>RMの推進と安全マニュアルに基づく作業の徹底をする。</li> <li>職場見学、社会人講師の講話などを通じて、進路考察やキャリア教育を行う。</li> <li>来年度の2年生から導入する新教科への内容検討を行う。</li> <li>中学校訪問、校外活動などを通じて、校外への情報発信を積極的に行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が資格を取得し、指導方法を確立する。</li> <li>安全チェック項目を作業前に決めておく。</li> <li>実習などに負担が寄らないように進める。</li> <li>家庭科との連携を深めて実習内容を定める。</li> <li>発信する情報を精査し、より分かりやすい内容にしている。</li> </ul>   |
| 3年学年会   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着と社会人基礎力の向上</li> <li>進路実現に向けてのキャリア教育の充実</li> <li>リーダーの育成</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻数の減少など、時間を守り、自己管理ができる生徒を育成する。</li> <li>実行力、考え抜く力、チームで働く力など、社会人として必要な能力の向上を図る。</li> <li>進路実現のための自己分析と企業や進学先の研究機会を設ける。</li> <li>部活動や学校行事などに積極的に参加させ、主体的に行動ができる人材育成を図る。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守る、挨拶、身だしなみ、返事、整理整頓など、できるまで粘り強く指導する。</li> <li>部活動や資格取得などで努力を成果に繋げさせ、達成感や自己有用感を高める。</li> <li>進路指導部や学科と連携し、企業や進学先の研究を進め、自己理解を深めさせる。</li> <li>部活動や学校行事、資格取得、ボランティアなど、校内外における様々な活動に積極的に参加する雰囲気を作る。</li> </ul> |

|                        |   |  |  |
|------------------------|---|--|--|
| 2年学年会                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の定着</li> <li>・ 進路実現に向けてのキャリア教育の推進</li> <li>・ リーダーの育成</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5分前行動を習慣づけ、昨年度より遅刻数を減少させる。また、自ら率先して行う挨拶と身だしなみの向上を図る。</li> <li>・ 自己分析を通して、将来像を考えさせる。</li> <li>・ 進路実現のために何をしたらよいか思考を深めさせ、行動させる。</li> <li>・ 学校の中核を担う学年として、部活動や学校行事などに積極的に参加させ、主体的に行動できる人材育成を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間を守る、あいさつ、身だしなみなど、できるまで粘り強く指導する。</li> <li>・ 進路指導部や学科と連携し、進路意識を高める活動や、積極的に資格取得についての声掛けをし、進路実現に向けて力を蓄える1年とする。</li> <li>・ 部活動や学校行事、ボランティア活動に積極的に参加するように、その意義を伝えるなどの指導にあたる。</li> </ul> |
| 1年学年会                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣や学習習慣、授業規律の確立</li> <li>・ 工科高校生としての自覚を持たせ、進路実現へ向けた目標設定を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5分前行動や自ら率先して挨拶を行うことを意識づける。</li> <li>・ 授業開始前の教材準備と着席を徹底し、落ち着いて授業に取り組ませる。</li> <li>・ 各教科学科と連携を図り、授業や提出物の取り組み状況を共有する。</li> <li>・ 資格取得や部活動、学校行事、ボランティア活動などに目標をもって取り組ませる。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円滑な対人関係を築くためにも時間を守ることや挨拶の重要性を確認させる。</li> <li>・ 教室環境の整備も含め、授業を大切にすると雰囲気をつくる。</li> <li>・ 職員間の報告・連絡・相談を徹底し、生徒一人一人を見守り支える。</li> <li>・ 資格取得や諸活動の意義を理解させ、積極的な参加を促す。</li> </ul>            |
| 学校関係者評価を実施する<br>主な評価項目 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクール・ポリシー「三つの方針」について</li> <li>・ 業務の見える化、業務の精選、業務分担による働き方改革の推進</li> <li>・ 休み方改革を含めた職員のワーク・ライフ・バランスの啓発</li> <li>・ ICT機器を活用した授業の推進と教育活動等の情報発信</li> </ul>   |  |